

一般財団法人 PwC 財団 代表理事 安井 正樹殿

2021 年度助成事業

助成金交付申請書

2021 年 月 日

申請団体情報

団体の名称	(フリガナ)	
所在地	(フリガナ) 〒	
電話番号		
団体 ホームページ		
代表者	役職	氏名
		(フリガナ)
連絡責任者	役職	氏名
		(フリガナ)
	電話番号	
	E-mail	
団体の目的		

団体の活動内容	事業の概要	※団体全体の事業概要について記載ください		
	取り組む社会課題のテーマとその理由	※どのような社会課題野解決に取り組んでいるか記載ください		
活動年数		年間活動頻度		のべ参加人数
連携団体			ホームページ	
直近の活動実績(3件まで)				
助成・受賞の実績				
申請特許番号(あれば)				
運営母体情報	運営母体の名称			
	代表者名			
	所在地		(フリガナ)	
			〒	
	電話番号			

# 事業計画書

下記のとおり貴財団の助成を申請します。

記

## 助成事業の使用に関する計画

### 1. 助成申請事業名

### 2. 助成事業の目的

※団体の事業全体ではなく、当該事業の目的について記載ください

### 3. 助成事業の内容

※当該事業の実施体制、予算、スケジュールが分かるように記載ください

#### 4. 該当する活動

※助成申請事業が、応募要項に記載の対象活動のうち、該当する活動を選択ください  
(複数選択可)

1. 画像診断支援: CT・MR の画像を AI で分析し、臓器の境界線や、病変部位などを自動で認識する
2. 手術支援: ナビゲーションなどによる外科医の意思決定支援や手術をサポートする
3. その他診断・治療支援: AI による医療データやテキストなどを解析し、診断や治療計画作成などをサポートする

#### 5. 実現したい世界

※1 当該事業期間内だけでなく、5 年後、10 年後までイメージして、どのようなインパクトをどう創出していくのか分かるように記載ください

※2 どのようにテクノロジーを用いて課題が解決されるのか、実現内容と方法が分かるように記載ください

## 6. 事業全体の計画・現在の進捗・助成事業の対象

- ※1 当該事業における現在の進捗と各ステージへの到達時期について回答例を参考に記載ください
- ※2 回答例に記載の事業ステージ自体が異なる場合はその点も含めて記載ください
- ※3 当該事業に該当する事業ステージを選択してください

<回答例>

事業のステージ(例)	現在の進捗	助成事業の対象
①必要な製品の開発や治験を実施している	✓	
①必要な製品の開発／治験が終了し、実証実験を進めており、一部地域／病院で用いられつつある	✓	✓
②一部地域での利用を進めつつ、疾患啓発など全国的利用／展開に向けた準備を進めている		✓
③全国的利用に向けた準備が進み、全国で AI が用いられ、効果が実感されている		

## 7. 事業の継続性(ステージ①関連)

- ※事業モデルについて、顧客や顧客ニーズ、当該ニーズへのアプローチ方法や競合に対する優位性等を踏まえて記載ください

## 8. 社会的普及の実現性(ステージ②関連)

※社会全体に展開する上でのハードルと、それを乗り越える方法／計画について記載ください

## 9. 長期的なインパクト(ステージ③関連)

※今後 5 年間で見込まれる受益者と経済効果について、算出根拠を含めて記載ください

## 10. 助成事業の短期的成果

※当該事業によって 1 年後に見込まれる成果を記載ください

## 11. 当該事業推進における課題・助成金以外に必要な支援(支援が必要な理由)

※当該事業推進において課題があり、助成金以外に必要な支援(人的支援含む)がある場合は記載ください

## 12. 他の出資・助成の有無

有 · 無

※有の場合は、出資元・他助成名称を記載ください

メール添付資料 チェックシート	資料内容	チェック
	1. 定款	
	2. 役員名簿、全部事項証明書 (申請日から 6ヶ月以内に取得した最新のもの。写しでも可)	
	3. 前年度の収支決算書(株式会社の場合は損益計算書)	
	4. 本年度の収支予算書(株式会社の場合は予算案)	
	5. 貸借対照表	
	6. 助成事業の予算書	
	7. 事業案内書(パンフレットなど)	